

新潟民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。 2024年9月6日（金）
発行者：坂下 弘

各事業所でアンケートを回収！

「現行の健康保険証廃止」に関するアンケート 患者さん、利用者さんへ回答を依頼

アンケート回収数 258通

窓口で回収103通 ・ 返信用封筒93通
Googleフォームで回答62通



返信用封筒で届いたアンケート

8月から取り組みを始めた「マイナ保険証の強要と健康保険証の廃止をストップさせる取り組み」の1つとして、外来に受診された患者さん、介護施設の利用者さん、健康友の会の会員の皆さんなど、幅広く多くの皆さんに現行の健康保険証が12月2日に廃止されてマイナンバーカードに一本化されることへの率直な受け止めを聞くアンケート調査を県連内の各事業所で取り組んでいます。

回答方法は、①事業所内で職員に渡す（回収ポストに入れる等） ②返信用封筒を使い返信する ③QRコードで回答するの3種類で、現在（9月6日時点）258通の回答が届いています。寄せられた意見の一部を紹介します。

アンケートで寄せられた意見（一部）

- 健康保険証を廃止しないとしない理由は無い。保険資格を最も簡単に確認できる現行の保険証を廃止するのはナンセンスでしかない。無駄な手間をかけないために、現行の保険証存続を。
- マイナ保険証にするとすべての個人情報漏れるのではないかと不安です。
- 高齢で老人ホームに入っている母親はマイナンバーカードを作るつもりもなく、一本化は不安です。
- 80歳を過ぎていて何事も忘れっぽくなり、新しいことが覚えられなくなりました。現在のままが私としては安心できますが、廃止は恐怖となります。
- 「資格確認証」を現在の保険証の廃止にともない発行するというが、なんと無駄なことをするのかと思う。表紙の名前が変わるだけではないのか。
- 現在は保険証が役所から自動的に送られてきますが、75歳を過ぎた今、今後自分で更新手続きが出来なくなる時期が来たらどうすればよいのでしょうか。
- 今までトラブルもなく保険証を使ってきたので、現状維持でお願いします。